

令和5年度 年間授業計画

東京都立富士高等学校附属中学校

教科名	特別の教科 道徳	対象学年	1年	週時間	1時間
使用教科書	「中学生の道徳 自分を見つめる1」(廣済堂あかつき) 「中学生の道徳 ノート 自分を見つめる1」(廣済堂あかつき)	教科担当	伊東 森、川崎 美幸 伊藤 景一郎、宮本 英司		
副教材	「キラリノート」(正進社)、「心みつめて」(東京都教育委員会)				

授業の目標	授業計画				
	○中学生としての自覚をもたせ、思いやりや敬愛の気持ち、礼儀を重んずる心を育て、望ましい生活習慣の確立を図る。 ○集団の意義について理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上に努める。				

学期	月	単元	学習内容	配当時間	具体的な指導目標		
						1	2
主な学習内容と授業時数	1学期	4	1 この人生の主人公 2 目標は小刻みに 3 裏庭のできごと	A-1 自主、自律、自由と責任 A-4 希望と勇気、克己と強い意志 A-1 自主、自律、自由と責任	3	・「この人生の主人公」の詩から自分の人生を主体的に生きることについて考えることを通じて、自立心や自律性の大切さに気づき、自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行していこうとする道徳的実践意欲を培う。 ・小さな目標を設定し、それらを達成していくことで完結することができた「私」の心の動きについて考えることを通じて、目標の達成が希望や勇気を生み出すことに気づき、目標に向かって困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げようとする道徳的実践意欲を培う。 ・葛藤を乗り越えて真実を告白することを決断した健二への共感的な理解を通して、自律的な行動と責任の大切さに気づき、自律的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつ道徳的実践意欲を高める。	
			5	4 あなたの「生きようとする力」 5 いつわりのバイオリン 6 アイツ 7 半分おとな 半分 こども	D-19 生命の尊さ D-22 よりよく生きる喜び B-8 友情、信頼 B-7 礼儀	3	・赤ちゃんの誕生における人体の営みを知り、生命が生きていることの意味について考えることを通じて、かけがえのない自他の生命を尊重する道徳的実践意欲を培う。 ・ロビンからの手紙に涙をこぼすフランクの心情について考えることを通じて、誰もがもっている人間らしいよさを認め、弱さに負けず自分に恥じない生き方を見出そうとする道徳的実践意欲を培う。 ・真一と寛樹が仲違いしてから仲直りするまでの心の動きを共感的に理解し、これからの二人のよりよい関係について考えることを通じて、異性間においても互いに相手を理解し、よさを認め合うことの大切さに気づき、心から信頼し合える人間関係を築いていこうとする道徳的実践意欲を培う。 ・「礼儀知らず」の礼について考えることを通じて、心と形が一体となった礼儀の意義に気づき、時と場に応じて適切な言動をとろうとする道徳的実践意欲を培う。
				6	8 釣り竿の思い出 9 ヨシト 10 あのハチドリのように ワザリ・マターイー 11 木箱の中の鉛筆たち	A-2 節度・節制 C-11 公正、公平、社会正義 D-20 自然愛護 A-3 向上心、個性の伸長	4
		7			12 アップロード作戦 13 番号の死 14 島耕作 ある朝の出来事	C-16 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 D-19 生命の尊さ C-10 遵法精神、公德心	3
			9	15 音を宿す 16 夜のくだもの屋 17 加山さんの願い	C-17 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 B-6 思いやり、感謝 C-12 社会参画、公共の精神	3	・どれだけ太鼓の形が変わっても、変わることはないものがあることに気付いた三浦彌生さんの太鼓作りについて考えることを通じて、優れた伝統と文化を育んできた先人たちの努力と精神に気づき、我が国の伝統と文化を尊重し、継承、発展させていこうとする道徳的実践意欲を培う。 ・くだもの屋のふりかざりについて考えることを通じて、深い愛情をもって育ててくれた家財に感謝し、敬愛の念をもつ道徳的実践意欲を培う。 ・駐車場の出来事を振り返る「僕」の考えの変化について考えることを通じて、法やまきまりが自他の生活や権利を守るためにあることに気づき、法やまきまりを進んで守り、規律ある社会の実現に努める道徳的実践意欲を高める。
				11	18 ミスター・スードル 一安藤百福 19 美しい母の顔 20 人に迷惑をかけなければいいのか? 21 地下鉄で 22 吾一と京造 23 国際協力ってどういうこと? 24 ネット将棋	A-5 真理の探究、創造 C-14 家族愛、家庭生活の充実 C-10 遵法精神、公德心 B-6 思いやり、感謝 B-8 友情、信頼 C-18 国際理解、国際貢献 A-1 自主、自律、自由と責任	4
	12	25 ある日のバッテリーボックス 26 銀色のシャープペンシル 27 午前一時四十分	C-11 公正、公平、社会正義 D-22 よりよく生きる喜び C-13 勤労		3	・生き生きとソフトボールをする0さんと子供たちの姿に魅了された筆者の心情について考えることを通じて、誰に対しても公平であることのよさや大切さに気づき、差別や偏見をなくし、誰もが生き生きとできる社会の実現に努める道徳的実践意欲を培う。 ・本当のことを言い出すことができず葛藤する「僕」の心の動きについて考えることを通じて、自己の弱さや醜さに向き合い、それらに打ち勝つ良心の声を自覚して、よりよく生きる喜びを見出そうとする道徳的実践意欲を培う。 ・家族に止められても新聞配達を続ける母が働く理由について考えることを通じて、勤労の尊さや意義を理解し、勤労を通して生きがいのある人生を実現しようとする道徳的実践意欲を培う。	
		3学期	1		28 語りかける目 29 旗 30 終わらな挑戦 一城田 真由美	D-19 生命の尊さ B-6 思いやり、感謝 A-4 希望と勇気、克己と強い意志	3
	2			31 よみがえった良心 32 ふたりの子供たちへ 33 言葉の向こうに	D-22 よりよく生きる喜び A-1 自主、自律、自由と責任 B-9 相互理解、寛容	3	・すべてを捨てていってしまうアガサを助けることを選んだジミーの思いについて考えることを通じて、人間には高く生きようとする心があることを理解し、人間としての誇りある生き方を見出そうとする道徳的実践意欲を培う。 ・「私」が「ふたりの子供たちへ」の手紙に込めた思いについて考えることを通じて、家族が互いに愛情をもって支え合うことの大切さに気づき、家族への敬愛を深め、家庭の一員として充実した家庭生活を築こうとする道徳的実践意欲を培う。 ・自分のコミュニケーションの在り方を振り返る加奈子の気付いたことについて考えることを通じて、人それぞれにいろいろなものの見方・考え方があつていようとする道徳的実践意欲を培う。 ・自分のコミュニケーションの在り方を振り返る加奈子の気付いたことについて考えることを通じて、人それぞれにいろいろなものの見方・考え方があつていようとする道徳的実践意欲を培う。
			3	34 ガジュマルの木 35 二枚の写真	D-21 感動、畏敬の念 C-15 よりよい学校生活、集団生活の充実	3	・遺跡を覆うガジュマルの木に衝撃を受けたヨウヘイの心を共感的に理解することを通して、美しいものや気高いものに感動する心、人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつ道徳的実践意欲を培う。 ・病室の窓に手を振る同級生たちの思いについて考えることを通じて、人々の心が一体となった学校生活のよさに気づき、学校の一員としての自覚をもち、協力し合っってよりよい学校生活をつくろうとする道徳的実践意欲を培う。
	指導時間 1学期：13時間、2学期：13時間、3学期：9時間、年間：35時間						

評価について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数値ではなく、記述によって評価する。</li> <li>・他の生徒との比較による評価ではなく、生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人評価として行う。</li> <li>・生徒の道徳性そのものではなく、道徳性を養う学習活動に着目して、学びのプロセスを評価する。</li> <li>・学習の一部分だけを見て判断するのではなく、一定期間の授業の中から生徒のよさを見いだして評価する。</li> <li>・多角的・多面的な見方・発展しているか、自分との関わりで深まっているかといった点を重視して評価する。</li> </ul>
--------	---



令和5年度 年間授業計画

東京都立富士高等学校附属中学校

教科名	特別の教科 道徳	対象学年	3年	週時間	1時間
使用教科書	「中学生の道徳 自分をのぼす3」(廣済堂あかつき) 「中学生の道徳ノート 自分をのぼす3」(廣済堂あかつき)	教科担当	竹田 美佳子、小園 修平 南 昭仁、塩入 直也		
副教材	「キラリノート」(正進社)、「心みつめて」(東京都教育委員会)				

授業計画

授業の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳的価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え生き方についての考えを深める。</li> <li>○道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。</li> <li>○自らの役割と責任を自覚し、協力して集団生活の向上に努めるとともに、社会の一員として自己の人生を切り拓き社会に貢献する態度を育てる。</li> <li>○学級や学校を愛し、自分の役割を果たして、よりよい学校生活の実現に対する意欲を高める。</li> </ul>
-------	---

主な学習内容と授業時数	学期	月	単元	学習内容	配当時間	具体的な指導目標			
1学期	4		リクエスト ・スダチの苗木 ・山寺のびわの実	A1 自主、自律、自由と責任 C14 家族愛、家庭生活の充実 B9 相互理解、寛容	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの軽はずみな行為を悔やむ伊藤君たちの心情を共感的に理解することを通して、自律的な判断と責任の大切さに気づき、自主的によく考えて判断し、行動の結果に責任をもつ道徳的態度を養う。</li> <li>・両親の苦勞を知って心を震わせる筆者の心情を共感的に理解することを通して、自分を育ててくれている家族の愛情の深さに気づき、家族を敬愛して、家族の一員としてよりよい家庭生活を築こうとする道徳的態度を養う。</li> <li>・さとと竹庵の話を聞いて、深々と頭を下げる基太の心の変化について考えることを通して、寛容で謙虚な心のよさや大切に気づき、相手の個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方を受け入れていく道徳的態度を養う。</li> </ul>			
				5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・独りを慎む</li> <li>・誰かのために</li> <li>・優しいうそ</li> <li>・監督がくれたメダル</li> </ul>	A2 節度、節制 D19 命の尊さ A4 希望と勇気、克己と強い意志 C15 よりよい学校生活、集団生活の充実	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らしを始めた筆者がぶつかった「どきんとすること」を手がかりに、「独りを慎む」ことの意義を考えることを通して、節制に心掛けて、心身の健康や安全で調和のある生活を築いていこうとする道徳的実践意欲を培う。</li> <li>・残りわずかな時間を子供たちのために必死に生きようとする母の姿から、「誰かのために生きる」ことについて考えることを通して、命の尊さを有限性や関係性を多面的・多角的に理解し、かけがえのない生命を尊重する道徳的心情を育む。</li> <li>・交通事故による苦難を乗り越え、「語り部女優」して復讐を決心した筆者の生き方について考えることを通して、勇気と希望をもって生きることの大切さに気づき、より高い目標に向かって、困難や失敗を乗り越えていこうとする道徳的実践意欲を培う。</li> </ul>
							6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業文集最後の二行</li> <li>・原稿用紙</li> <li>・襟袋のこと</li> <li>・ぶれない心 一 松井秀吉</li> </ul>
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひまわり</li> <li>・ピヨ子</li> </ul>	D22 よりよく生きる喜び A1 自主、自律、自由と責任	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美しい景色を目にしたことをきっかけに、絶望を乗り越え、誇りをもって生きようとする筆者の生き方の変化について考えることを通して、自らの弱さや醜さと戦い、自己を奮い立たせて、生きる希望や喜びを見出す道徳的心情を育む。</li> <li>・加奈子が美沙に送った画像が拡散したことで起きた問題について考えることを通して、自ら考え、判断し、実行し、自己の行為の結果に責任をもつ道徳的態度を養う。</li> </ul>				
			8						
								9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・席を譲られて</li> <li>・てんびんばかり</li> <li>・アインの進路選択</li> <li>・月明かりで見送った夜汽車</li> </ul>
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母と子のロードレース</li> <li>・ドナー</li> <li>・元さんと二通の手紙</li> <li>・虹の国 ― ネルソン・マンデラ</li> </ul>	C14 家族愛、家庭生活の充実 D19 命の尊さ C10 遵法精神、公德心 C11 公正、公平、社会正義	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アスリートとしてのリスクを省みず、母への生体肝移植を行いながらも、ロードレースに挑戦し続けた宮澤崇史さんの思いについて考えることを通して、家族からの支えや無私の愛情に気づき、家族の一員としての自覚をもって、互いに支え合う家庭生活を築いていく道徳的実践意欲を培う。</li> <li>・二つの投書の意見の根拠にある命に対する感じ方や考え方を探り、生命倫理の問題について考えることを通して、生命の尊さを多面的・多角的に理解し、自他の生命の尊厳を守る道徳的態度を養う。</li> <li>・二通の手紙を受け取った元さんが「この年になって初めて考えさせられること」について考えることを通して、法やまじりの意義を理解し、それらを進んで守り、規律ある安定した社会の実現に努める道徳的態度を養う。</li> <li>・ネルソン・マンデラが目指した社会の在り方について考えることを通して、無知から生まれる偏見や不寛容な心など人間の弱さや醜さに気づき、正義と公正さを重んじ、差別や偏見のない社会の実現に努める道徳的実践意欲を培う。</li> </ul>				
			11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・風に立つライオン</li> <li>・二人の弟子</li> <li>・ほっちゃれ</li> <li>・カントとルソー</li> </ul>	A4 希望と勇気、克己と強い意志 D22 よりよく生きる喜び D21 感動、畏敬の念 A1 自主、自律、自由と責任	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「風に向かって立つライオンでありたい」と願う「僕」の生き方について考えることを通して、人生の理想を追い求めることの大切さや素晴らしさに気づき、強い意志と希望をもって人生を切り拓いていく道徳的実践意欲を培う。</li> <li>・師匠の自白を見て涙を流す習行の思いについて考えることを通して、自己の弱さや醜さを乗り越えようとする人間の強さや気高さに気づき、人間としてよりよく生きる喜びを見出し、よりよい道徳的実践意欲を培う。</li> <li>・ほっちゃれのすさまじい生涯や、ほっちゃれを手にとった男性に対する筆者の思いを共感的に理解することを通して、大なる自然の神秘や生命の営みに感動や畏敬の念をもつ道徳的心情を育む。</li> <li>・カントがルソーの『エミール』から学んだことについて考えることを通して、人間が本来的にもつ良心の尊さに気づき、自律の精神を重んじる道徳的心情を育む。</li> </ul>	
12						<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある元旦のこと</li> <li>・海と空 ― 櫻野の人々</li> <li>・ペペーカー論争</li> </ul>		B6 ある元旦のこと C18 国際理解、国際貢献 C10 遵法精神、公德心	3
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運命の木 ― 姫路城</li> <li>・高砂丸とポトマック川のこと</li> <li>・千年先のふるさとへ</li> </ul>	C17 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 D19 命の尊さ C16 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 C12 社会参画、公共の精神	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・姫路城の大柱に込められた人々の思いを共感的に理解することを通して、先人の残した伝統文化の大切さに気づき、我が国の優れた文化の継承と文化の創造に貢献しようとする道徳的実践意欲を培う。</li> <li>・他者の命を救おうとして亡くなったアランドとクマッセンの行為を伝えようとする人々の思いについて考えることを通して、生命の尊さを理解し、自他のかけがえのない生命を尊重する道徳的態度を養う。</li> <li>・「いのちの石碑」に込められた女川中学校の生徒たちの郷土に対する思いについて考えることを通して、郷土を愛し、主体的にその発展に努めようとする道徳的実践意欲を培う。</li> </ul>		
2				<ul style="list-style-type: none"> <li>・招集通知 ― あなたが裁判員になるとき</li> <li>・ショーペンハウアーとニーチェ</li> </ul>		C12 社会参画、公共の精神 A5 真理の探究、創造	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの話を聞いた恵美が気付いたことについて考えることを通して、主体的に社会に関わるこの大切さに気づき、社会参画の意識と社会連帯の自覚を深め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努める道徳的実践意欲を培う。</li> <li>・ショーペンハウアーとニーチェのエピソードを手がかりに、「自分で考えること」の大切さについて考えることを通して、主体的に真理や真実を求め続けていこうとする道徳的態度を養う。</li> </ul>	
						3		D22 よりよく生きる喜び	2
指導時間	1学期：13時間、2学期：13時間、3学期：9時間、年間：35時間								

評価について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数値ではなく、記述によって評価する。</li> <li>・他の生徒との比較による評価ではなく、生徒がいか成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として行う。</li> <li>・生徒の道徳性そのものではなく、道徳性を養う学習活動に着目して、学びのプロセスを評価する。</li> <li>・学習の一部分だけを見て判断するのではなく、一定期間の授業の中から生徒のよさを見いだして評価する。</li> <li>・多角的・多面的な見方へ発展しているか、自分との関わりで深まっているかといった点を重視して評価する。</li> </ul>
--------	---